令和２年第６回今金町議会臨時会　第１号

令和２年７月３１日（金）

○議事日程

１　会議録署名議員の指名について
２　会期の決定について
３　諸般の報告
４　議案第１号　令和２年度今金町一般会計補正予算（第４号）について

○出席議員（１２名）

議長１２番	村瀬　廣君	副議長１１番	芳賀芳夫君
１番	川上絹子君	２番	向井孝一君
３番	山崎　仁君	４番	小川ひとみ君
５番	日置紳一君	６番	内ヶ島祐一君
７番	上村　忠君	８番	岸　徹也君
９番	徳田栄邦君	１０番	村上忠弘君

○欠席議員（０名）

○出席説明員

町長	外崎秀人君	
副町長	中島光弘君	
総務財政課長	森　朋彦君	
兼選管書記長		
総務財政課長補佐	宮崎吉広君	
公営施設課長	安達雄一君	
公営施設課長補佐	小西康友君	
公営施設課長補佐	由浅和正君	
くらし安心課長	田中　崇君	
農林振興課長	川平秀明君	
農林振興課長補佐	中里英明君	
教育長	中山秀悦君	
教育委員会事務局長	住吉　淳君	
兼総合体育館館長		
兼給食センター所長		
教育委員会事務局次長	早坂　靖君	

○出席事務局職員

議会事務局長	伊藤靖徳君
議会事務局主事	五十嵐陽基君

開議　午前１０時００分

◎開会の宣告

○議長（村瀬　廣君）　おはようございます。

只今の出席議員は１２名で、定足数に達しておりますので、本日をもって招集されました令和２年第６回今金町議会臨時会を開会いたします。

◎開議の宣告

○議長（村瀬　廣君）　これより本日の会議を開きます。

◎日程第１　会議録署名議員の指名

○議長（村瀬　廣君）　日程第１、会議録署名議員の指名を行います。

本日の署名議員には、芳賀君、川上君を指名いたします。

◎日程第２　会期の決定

○議長（村瀬　廣君）　日程第２、会期の決定を議題といたします。

お諮りいたします。

本臨時会の会期は、本日の１日間といたしたいのでありますが、これにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（村瀬　廣君）　ご異議がないので、会期は本日の１日間と決定いたしました。

◎日程第３　諸般の報告

○議長（村瀬　廣君）　日程第３、諸般の報告を行います。

先の第２回定例会において設置が決定されました、「議会改革活性化推進特別委員会」の正副委員長の互選については、７月２日に開催された特別委員会において、委員長には芳賀君、副委員長には村上君、以上のとおり互選されましたので報告いたします。以上で諸般の報告を終わります。

◎日程第４　議案第１号

○議長（村瀬　廣君）　日程第４、議案第１号を議題といたします。

「令和２年度　今金町一般会計補正予算（第４号）について」理事者の説明を求めます。副町長、中島君。

○副町長（中島光弘君）　令和２年度　今金町一般会計補正予算（第４号）について、提案理由を申し上げます。今回の補正予算については、規定の歳入歳出予算の総額に１億１，８７１万円を追加し、補正後の予算を歳入歳出それぞれ６５億８，５１６万９千円にしようとするものであります。補正の主なものについて歳入より申し上げます。１ページをご覧下さい。

９款、地方交付税については、８，０１６万２千円の追加であります。

１３款、国庫支出金で２，２４８万８千円の追加は国庫補助金であります。

２０款、町債については、１，６３０万円の追加であります。

次に歳出です。２ページをご覧下さい。

８款、土木費において７００万円の追加は道路橋りょう費であります。

９款、消防費において１，７２７万７千円の追加。

１０款、教育費において３，２６３万３千円の追加は、小学校費２，１５３万３千円、中学校費７８０万円、保健体育費３３０万円をそれぞれ追加であります。

１３款、災害復旧費において６，１８０万円の追加は、農林水産業施設災害復旧費２，５５０万円、公共土木施設災害復旧費３，６３０万円をそれぞれ追加であります。

次に第２表、債務負担行為補正について３ページです。

追加、事項は防災備蓄庫建設事業、期間は自令和２年度から至令和３年度、限度額は防災備蓄庫建設事業、金額４，９１０万円であります。

次に第３表、地方債補正について４ページです。

追加、起債の目的は防災備蓄庫建設事業債、限度額１，６３０万円、起債の方法は普通貸借又は証券発行、利率は年５％以内、償還の方法、政府資金については、その融資条件により、銀行その他の場合には、その債権者と協定するものによる。ただし、町財政の都合により据置期間及び償還期限を短縮し、又は繰上償還もしくは低利に借換えすることができる。

以上、説明を申し上げました。ご審議頂き議決賜りますよう、よろしくお願いいたします。

○議長（村瀬　廣君）　説明が終わりました。これより質疑を行います。

質疑は歳出より款ごとに行います。

質疑にあたっては、会議規則第５４条の規定に基づき、簡明にかつ明瞭とし、議題外にわたらず、また、その範囲を超えないようにお願いしておきます。

８款、土木費の質疑を行います。

８ページです。

質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

土木費の質疑を終わります。

９款、消防費の質疑を行ないます。

９ページです。

質疑ありませんか。山崎君。

○３番（山崎　仁君）　９ページの防災備蓄倉庫についてです。配置図を見るとだいたいの想定はつくのですが、１９８㎡、６０坪だと思うのですが、ここに何をどの程度備蓄をする予定なのか。

○議長（村瀬　廣君）　くらし安心課、田中君。

○くらし安心課長（田中　崇君）　建設を予定しております、防災備蓄倉庫ですが、今現在、防災備蓄品を保管してある施設は総合体育館と町民センターになります。そこに保管してある備蓄品を建設後に移動をさせたいと考えております。

また、総合体育館と町民センターは有事の際には、避難場所となりますので、両施設で必要な備蓄品についてはそのまま保管をしつつ、それ以外の物を防災備蓄倉庫に移動をさせるというものであります。

新型コロナウイルス感染症の影響で今後必要と思われる備蓄品も将来的には購入をして保管をする形になりますので、よろしくお願いいたします。

○議長（村瀬　廣君）　山崎君。

○３番（山崎　仁君）　具体的に何をどの位、保管をするので、これ位の大きさの倉庫が必要だというふうに考えたと思いますが、将来何を入れるか分からないわけですよね。６０坪という大きな建物の中に、何をどの位入れるという事を現時点で我々に説明をして頂かないと。何を入れるんですかという話に後からなりますか。これ１回目の質問ですよ。何をどの位入れる備蓄庫なんですか。

○議長（村瀬　廣君）　くらし安心課、田中君。

○くらし安心課長（田中　崇君）　現在、総合体育館及び町民センターに備蓄してあるある物について、電化製品として発電機、ポータブルストーブ、バルブ投光器、ジェットヒーター、扇風機があります。生活用品という事で防災用毛布、トイレセット、避難所の間仕切りパーテーション、敷マット、バーナー、段ボールゴミ箱等の生活用品があります。食料、飲料水という事で、災害用の備蓄パンを１，５００食、飲料水３２４ℓ分、レトルト食品で６００食分を備蓄しております。これらを新たな備蓄庫に移動させるものであります。

今後については感染症対策という事で、各自治体でも導入が進んでおりますが、屋内用テントの購入についても検討をしているところでございます。今後の備蓄品導入計画という事で予定をしております。

また６月補正にて議決を頂いた、新型コロナウイルス感染症対策用の不織布マスクや消毒液についても現在、総合体育館に保管をしておりますが、それらについても新たな備蓄庫に保管をしたいと考えております。

○議長（村瀬　廣君）　山崎君。

○３番（山崎　仁君）　発電機やごみ箱は備蓄品ではなくて備品です。今、総合体育館や町民センターに備蓄をしているものを新しい倉庫に移動をさせるというような答弁だと思います。総合体育館や町民センターに置いてある物をそのまま使えるようにしてある思いますが、各生活館にも備品として置いてあります。同じ考えで総合体育館、町民センターに置いてあるのであれば動かす必要は無いと思います。元々、避難の拠点となるような所に備品として置いてある物は。それらを一括して備蓄庫に移動をさせるのであれば、各地区の備品もそのようになるのか。備品というのは避難所に備え付けられた緊急時に使う物ですよ。これは各施設にあって当たり前なんです。そ

う考えると備蓄倉庫６０坪の建物に何をどの位入れるという事は、まず備品は除外されるはずです。この大きさに入れなければならない防災備蓄、水とか毛布とか色々あると思うけれども、この大きさに入れる備品、備蓄品は何ですかという質問です。施設にある物は施設で良いんです。新たに入れるのは何ですかという事です。

○議長（村瀬　廣君）　くらし安心課、田中君。

○くらし安心課長（田中　崇君）　議員のおっしゃる通り発電機に関してはそれぞれの施設で必要な備品という事でございますので、これを新たに備蓄庫に移すというものではございません。各施設に発電機、投光器を設置しておりますけれども、これらに関しても有事の際の避難所となった場合に速やかに活用するものでございますので、備蓄庫に移すものではございません。新たに備蓄庫に入れるというものですけれども、町民センター、総合体育館以外の施設でも使用されるであろう備蓄品もございますので、そういったものも新たな備蓄庫に移す予定であります。総合体育館、町民センターが避難所となり必要となった際に、そこに置きつつ、それ以外で各施設で使うであろう備品についても新たな備蓄庫に保管するものでございますので、よろしくお願いいたします。

○議長（村瀬　廣君）　山崎君。

○３番（山崎　仁君）　この大きさになった積算根拠は何なんですか。何をどの位入れるからこの大きさが必要ですというお話をして頂きたいわけですよ。何を入れるかという事が決まっていないはずは無いと思います。何をどの程度入れるからこの大きさが必要です。それプラスアルファ、今後購入した物を入れるんですという答弁であったら理解出来ますが、どうも要領を得ません。これは私の理解が悪いのか、どうなんですか。

○議長（村瀬　廣君）　くらし安心課、田中君。

○くらし安心課長（田中　崇君）　総合体育館の今の備蓄庫、それから町民センターに保管してあります防災備蓄品、それぞれの面積がおおよそ１００㎡弱になっております。今、建設を予定しているのが１９８㎡弱となっておりますけれども、今の防災備蓄品も年々整備をしていき、それぞれの備蓄庫のスペースも手狭となっている状況でございます。有事の際にスムーズな搬入スペースを考えた際に、今現在のものより余裕を持ったスペースが必要だろうという事と有事の際に新たな備蓄庫の方に物を持って行く事もあろうかと思いますし、常に保管スペースが満杯になるという事を避けたいと事もありまして、今回１９８㎡の防災備蓄庫を整備するものでございますので、よろしくお願いいたします。

○議長（村瀬　廣君）　山崎君。

○３番（山崎　仁君）　私は防災備蓄が必要では無いという事ではなくて、今新たに６０坪のものが建てられると。その６０坪が必要な根拠。何をどの程度入れたいと。それが無いと説明をされても中々理解が苦しい。例えば、水を何ケース置くつもりや毛布を何千枚用意するとか、その位の説明を今回頂きたかったと思う。私は一か所に備蓄品を集めるのはどうかなと思う。集めたものを必要な時に運ぶという手段が必要だ。

緊急時にこれをやるとなると皆様に負担が掛ると思う。防災備蓄品で最低限必要な物はその地域の生活館に保管をするという事があっても良いと思う。例えば交通がダメになり、車が走れません、道路が通れません、という事があれば届けられないわけですよ。今金町の防災を考えた時に、この広大な面積の中で、それを考えたらやはり１か所よりは数か所に管理をするという方が私は良いと思います。１か所に集めるというのであれば、何をどの位入れるのかという事を私は聞きたかったわけですよ。それは良いとしても各地域に備品を置くという考えはこれから出てこないわけですか。

○議長（村瀬　廣君）　副町長、中島君。

○副町長（中島光弘君）　一連の流れは担当課長の答弁の通りでありますけれども、一つの考え方として山崎議員が言った通り、それぞれの避難所で必要な物はそこに置くべきだと思います。定期的に点検をする事も必要だと思います。それから１，０００年に１度の大水害が来た場合について、今の国道が５０センチから約３メートルが水没地区になるという事で、当然ながら総合体育館もその地域になります。現在、担当課では２次避難計画というものを作っております。通常ですと、ある程度分散をする形。今回の新たなコロナ関係の備蓄品を整備していく必要があると思います。整備計画についても今後議会の方にも提示をしていきます。場合によっては、今金町の一番の避難所の拠点である総合体育館から２次避難の可能性も出てきます。その場合にもそこにある一定程度の備品も安全な所に移すという作業も考えられます。まだ固まっていませんけれども、小学校も想定しましたが、裏山が崩れる可能性もありますので、避難所としては使えないだろうという事で、市街地の国道よりも北、神丘地区を含めた避難計画というものを作っておりますので、元々の避難所に置く備品と、それから移動が必要になった時に一時的に置くもの。それから新たなウイルス以外に対しての備蓄庫という事で考えておりますので、よろしくお願いいたします。

○議長（村瀬　廣君）　山崎君。

○３番（山崎　仁君）　そういう事を踏まえて対応をしっかりして頂きたいと思います。それともう１つ。この配置図を見て思うのですが、車庫の位置は今の除雪ステーションの向いですか。少し広めのスペースなんですよね。この位置を見ると丁度ど真ん中に建つわけですよ。これが少し北側に寄ったりする事によって、この残った土地がかなり活用されるような気がする。計画ではこのように建てるらしいですけれども、この敷地の中で、どう配置をするかという事を考えて、将来この除雪センターの向いに何かを整備する。何かといったらまだ議論にはなりませんけれども、空けておくのも一つの考え方だと思う。その辺の所も十分協議をした上だと思いますけれども、再度配置について考えられるかどうかお尋ねします。

○議長（村瀬　廣君）　副町長、中島君。

○副町長（中島光弘君）　ご提案を頂きましたので、検討の土台に含めたいと思います。より有効的な場所という事で、最終的にはここという形になるかもしれませんが、いずれにしても検討をさせて頂きます。

○議長（村瀬　廣君）　他にありませんか。岸君。

○８番（岸　徹也君）　防災備蓄庫の関係で違う観点からになりますが、私からも質疑をさせて頂きます。備蓄庫を新たに整備をするという事について肯定的ではあります。しかし、災害時において基本的に住民の方々がそれぞれ備蓄をした物を各家庭に置いて保管をするという基本スタンスがあるわけですよね。そのような広報も大事な事だと思うんですよね。最近そういうものを目にしません。もしかしたら出しているかもしれませんが。基本的には３日間から１週間程度の保存食が必要であるという事を合わせて、くらし安心課に広報をして頂きたいと思いますがいかがですか。

○議長（村瀬　廣君）　くらし安心課、田中君。

○くらし安心課長（田中　崇君）　有事の際に避難をした場合、備蓄品で対応出来るのも限界があろうかと思います。議員がおっしゃって頂いたように、あらかじめ備蓄品を用意して頂く事が必要だと思います。今年、回覧で地域のそれぞれの避難所はここですよというお知らせと、必ずしも避難所に行く事が避難ではないですよというお知らせもさせて頂きました。安全な場所であるならば友人や知人、親戚のお宅に避難する事も一つの方法ですよというお知らせをさせて頂いたところでございます。また、あらかじめこういう物を用意して下さいというお知らせを回覧させて頂きましたけれども、今後もそのような住民周知に努めて参りたいと思いますし、来年度は防災業線無線の運用開始にもなりますので、そういう物を活用して住民周知をさせて頂きますのでよろしくお願いいたします。

○議長（村瀬　廣君）　日置君。

○５番（日置紳一君）　建設の年度を分けている事についてお聞きします。１，４４０万円はどこまでの工事の部分なのか。来年度は３，４３７万円ですが、今年は基礎の部分だけで終わってしまうのか、来年は上の部分も建つのか、その辺を教えて下さい。

○議長（村瀬　廣君）　公営施設課長、安達君。

○公営施設課長（安達雄一君）　議員さんのおっしゃる通り、年度内に基礎の工事を考えております。１２月は降雪期になりますので、それまでに基礎の工事を完了する予定で、全体の工事費の３割を考えております。その後に雪が溶けた４月以降に上物の工事を行う予定でおります。

○議長（村瀬　廣君）　日置君。

○５番（日置紳一君）　基礎の工事の部分にコンクリートの立ち上げは入っていますか。それとも、３０センチ位の基礎の上に鉄筋を建てるのですか。

○議長（村瀬　廣君）　公営施設課長、安達君。

○公営施設課長（安達雄一君）　前に提出した資料の３２ページに立面図があります。年度内に基礎の立ち上げまでの工事を予定しております。

○議長（村瀬　廣君）　日置君。

○５番（日置紳一君）　合計で４，９００万は高いですよね。６０坪程度の農業用の倉庫であれば約１，０００万位で建つんですよ。起債を借りても単価が高くなるんですか。これから入札の考えはありますか。

○議長（村瀬　廣君）　総務財政課長、森君。

○総務財政課長（森　明彦君）　入札の手続きは当然踏ませて頂きますけれども、今回このタイミングで提案をさせて頂いた理由は起債の要件がございまして、緊急防災事業債を活用しようという事で財源充当を考えております。今年度中に工事着手をする事が要件で起債を借りる事が出来ます。その起債を用いたいという事なので、今回ご提案をするタイミングとなりました。手続きとしましては、この後設計をして入札、工事着工という事になりますのでよろしくお願いいたします。

○議長（村瀬　廣君）　他にありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（村瀬　廣君）　消防費の質疑を終わります。

１０款、教育費の質疑を行います。

１０ページから１２ページです。

質疑ありませんか。岸君。

○８番（岸　徹也君）　学校管理費になると思いますが、生徒１人に１台タブレット端末を整備するという事でした。これは全国一斉に動いているものだと思いますが、今金町では１人１台の設置がいつ頃までに完了をする予定なのか。

○議長（村瀬　廣君）　教育委員会事務局長、住吉君。

○教育委員会事務局長（住吉　淳君）　岸議員のおっしゃる通り、全国で生徒１人１台のタブレット端末の導入が進んでいるところであります。現状では、いつ導入が完了するという事はお答えする事は出来ませんが、これから予算が確定後に入札が行われますので、落札業者と出来るだけ早くに導入をして頂けるようにお願いをして、早期の導入を目指して事業を進めて参りたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

○議長（村瀬　廣君）　岸君。

○８番（岸　徹也君）　これからのお話なので、中々先が見えませんけれども、出来るだけ早く人数分が設置されるようにお願いをいたします。

それと今年度に一斉に準備をして下さいという事でしたが１つ心配があります。段階的に計画的に整備をして、更新をする時にも段階的に整備が出来れば、費用も抑えられる事で動いていたものが、一気に８割位の導入が進むという事は、更新も一気に行わなければならないという心配もあります。今の段階で更新の話、費用の話について答弁出来るか分かりませんが、決まっているものがあれば教えて頂きたいですし、もし決まっていないのであれば、今金町としての考え方を教えて頂きたいと思います。

○議長（村瀬　廣君）　教育委員会事務局長、住吉君。

○教育委員会事務局長（住吉　淳君）　５か年計画で順次更新が出来るようにしておりましたけれども、今回の新型コロナウイルス感染症により、オンライン授業・GIGA スクール構想が加速化されたという事で、今年度中に整備をして下さいという事になっております。先ほどの更新の話については、５年後に国の補助金があるという事については今のところはっきりした返答はございませんので、その中でもしかしたら状況が変わる可能性もあるかもしれませんが、現段階では無い状況だと思っております。

更新に関しては現在、機種の選定をしておりまして、今回文科省が補助金を出してくる４５，９００円という単価に最も近い機種でなおかつ保守の経費も掛からないという機種を選定しているとことです。５年後には購入した機種がどのような状況になっているか分かりませんが、出来るだけ延命をして更新を分散出来るだとかという事を考えております。出来るだけ単年度での経費を抑えられるように事業を進めて参りたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

○議長（村瀬　廣君）　他にありませんか。山崎君。

○３番（山崎　仁君）　タブレット端末についてお尋ねをいたします。品薄の中で調達をするのは大変だと思いますけれども、現場はどうなっているのか。タブレットを導入したけれども、教育現場はどうなっているのかと。年間スケジュールを立てて進めていると思います。その中でタブレット端末が途中で入ったから、いきなり教育の内容を変えられるものなのか。その辺はどうですか。

○議長（村瀬　廣君）　教育委員会事務局長、住吉君。

○教育委員会事務局長（住吉　淳君）　元々、今金・種川小学校ではタブレット端末を利用したパソコンを導入しておりますので、ある程度は慣れ親しんでいるのかなと思いますし、教職員についも授業で使用している部分もございます。また、新しい機種になる可能性もございますので、それを十分に活用しながら取り組んでいけるのかなと思います。新たに導入をする機種についても学校や教員、校長に対しても説明をして参りたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

○議長（村瀬　廣君）　教育長から答弁ありますか。教育長、中山君。

○教育長（中山秀悦君）　いつもきめ細かく配慮をして頂きありがとうございます。GIGAスクールのご質問に関してですが、コロナの関係で急遽、道教委でオンライン授業研究指定という事で、小学校が全道で２校、中学校についても２校という事で当たる事になりました。今金と伊達の小学校が研究の指定に当たりまして、６年生だけですが実証試験という事で家庭や通信の状況など指定を受けております。６年生が当たりましたが、決して６年生の担任だけという事ではなく、ICT 支援員もおりますし、事務員も含めて檜山教育局との研究に関わっての研修も全員で受ける事が始まっておりますし、８月末からの計画という事で道教委からなんですが１２月位という事で、いわゆる都市部と山間の地域という事で今金小学校がモデルになるという事で、お受けをさせて頂きますので、そういう点では経過や報告を出来る場面があるかと思いますのでよろしくお願いいたします。

○議長（村瀬　廣君）　山崎君。

○３番（山崎　仁君）　そういう事があれば合わせて説明を頂きたかった気がします。今金小学校が選ばれたという点から。先生方も一生懸命それに適応をしながら。子ども達も慣れるのは早いですから、先生方が環境を整えて指導をして頂ければオッケーだと思いますが、１年生からタブレットを使うのであれば、来年学校に入学しますよという認定こども園の子ども達にも触らせる事位は出来ないのかという気がします。これは補助の対象になるかならないかは分かりませんが、新規に１年生になる前位か

ら機械に触らせる事も配慮をして頂きたいと思いますがいかがですか。
○議長（村瀬　廣君）　教育長、中山君。
○教育長（中山秀悦君）　基本的な GIGA の知識取得が小学生、中学生という事になっております。やがて小学校に上がる事を含めて考えていきたいと思いますけれども、現時点では小学校、中学校の導入のみという事で考慮をしております。今ご指摘がありました、こども園も頭に入れながら、まずは小学校、中学校の教育を確実にやらせて頂きますのでよろしくお願いいたします。
○議長（村瀬　廣君）　他にありませんか。
（「なし」の声あり）
○議長（村瀬　廣君）　教育費の質疑を終わります。
１３款、災害復旧費の質疑を行ないます。
１３ページから１４ページです。
質疑ありませんか。
（「なし」の声あり）
災害復旧費の質疑を終わります。
以上で、歳出の質疑を終わります。
歳出全般について、質疑漏れございませんか。
（「なし」の声あり）
以上で、歳出全般についての質疑漏れを終わります。
次に、歳入の質疑を款ごとに行います。
９款、地方交付税の質疑を行ないます。
５ページです。
質疑ありませんか。
（「なし」の声あり）
地方交付税の質疑を終わります。
１３款、国庫支出金の質疑を行ないます。
６ページです。
質疑ありませんか。
（「なし」の声あり）
国庫支出金の質疑を終わります。
２０款、町債の質疑を行ないます。
７ページです。
ありませんか。
町債の質疑を終わります。
以上で、歳入の質疑を終わります。
歳入全般について、質疑漏れございませんか。
（「なし」の声あり）
以上で、歳入全般についての質疑漏れを終わります。

質疑を打ち切り、討論を行います。
討論を終わります。
討論を打ち切り、日程第４　議案第１号についての採決を行います。
本案は原案のとおり決定することに、ご異議ございませんか。
（「異議なし」の声あり）

○議長（村瀬　廣君）　ご異議がないので、議案第１号は原案の通りと可決いたしました。

◎閉会の宣告

○議長（村瀬　廣君）　以上をもって、日程の全部を議了いたしました。
これをもって、令和２年第６回今金町議会臨時会を閉会いたします。
大変ご苦労様でした。

閉会　１０時４０分